

第4期 中部WIN 第3回開催レポート

開催日時: 令和3年9月6日(月) 13:30~16:30

● 中部WIN卒業生によるミニ講話&トークセッション 「真のリーダーへの道筋」

原村 恵子 (第1期生) / 株式会社デンソー 人事部

中部WIN参加をきっかけに、外部とのつながりが大切であり、また、役立っているという経験談をお話いただきました。



中部WIN受講後の気づき

官と民の違い、国の強さ

様々なネットワーク、物事を動かす権限など

女性特有のコミュニケーション能力

自分の主張を先手で、そこに意見をまとめる工夫

過程から学び、国家レベルで考える

過去・未来、マクロ・ミクロの視点、落としどころ

会社の中にとどまらない = 一人、一企業では限界
社会を良く見渡し、異質なものと協力が必要

世の中の動きを学び
横のつながりを大事に！

POINT

横山 幸子 (第1期生) / 東濃信用金庫 人事部 人材開発課

ご自身の育児休暇の体験を生かし、主体的に行っている女性活躍のための取り組みをご紹介します。



「岐阜県子育て支援エクセレント企業」認定

カンガルーポケットの会

- ・子育てでの退職を防ぐ
- ・育休者は即戦力
- ・仕事、子育ての不安へのサポート、学びのアップデート
- ・復帰者の仕事に対する心構え

チームなでしこ

- ・とうしんファンを増やす！
- ・地域の方々への貢献
- ・ES(従業員満足度)の向上
- ・「エール感謝祭」「なでしこスポーツ大会」の開催

女性がキャリアを継続し
社会と関わり続ける

POINT

横関 美香 (第3期生)

／光洋メタルテック株式会社 経営管理部 人事グループ

自動車部品の製造業という男社会の企業風土を変えていく多様性推進グループを立ち上げ、中心メンバーとして提案・実行されてきた活動をご紹介します。



自分自身のパラダイムシフト

- ①自分のパラダイム(思い込み)に気づく
- ②パラダイムを壊す(疑う)
- ③多様性を認め意識する(自他の尊重)

私が思い描く会社にしたなら、みんなが
幸せになるはずだ！(パラダイム)

- ・会社と従業員がWIN WINになる
バランスはどこで取れるのか
- ・目指す目的に向かっているか

POINT

早く行きたければ、ひとりで行け。遠くまで行きたければ、みんなで行け。(アフリカのことわざ)
If you want to go fast, go alone. If you want to go far, go together.

陳 春紅 (第3期生)

／株式会社アイシン グループ技術開発本部 材料技術部

技術者として、他者との対話により物事を進めていく、コミュニケーションの大切さをお話いただきました。



仕事を通じて得られた気づき

やる気 = ワクワク感 × 使命感 × 責任感
望み通りにいかない時こそ成長のチャンス

POINT

違いを前提に関わり合うと、
より分かり合える

×

自分の思いや考えは、
自分から声をあげて発信

トークセッション

【聴講者の感想】

- ・バイタリティーに溢れ、様々な提案をしている
- ・違い、個性を生かしながら行動されている
- ・人を巻き込む力、情熱をもって周りを巻き込む
- ・モチベーションを上げる、自分を鼓舞する

etc.



【リーダーからのコメント】

- ・自分以外はすべてダイバーシティ
- ・違いを知ったときに初めて新しいものが生まれる
- ・巻き込まれたときにどう動くかも大事
- ・恥ずかしくても周りの人に聞く、そして巻き込む
- ・とことん勉強する、人に聞く、本を読む、ジタバタ
- ・心が疲れたら、身体を動かす

etc.

●グループワーク

前回の講評等を踏まえて、ビジネスモデル策定に向けたディスカッションを実施しました。

次回の経過報告に向け、各グループとも活発な意見を出し合いました。

Aグループ

持続可能な地域循環型コミュニティ事業

Bグループ

女性活躍推進のための『女性の意識改革』へのサポート、コンサルティング

Cグループ

みんな違っていいんだよ。
～みんなが幸せになる糸口支援プロジェクト～

Dグループ

夢をかなえるキャリア教育(仮)